

インターネット自動情報検索システムの開発

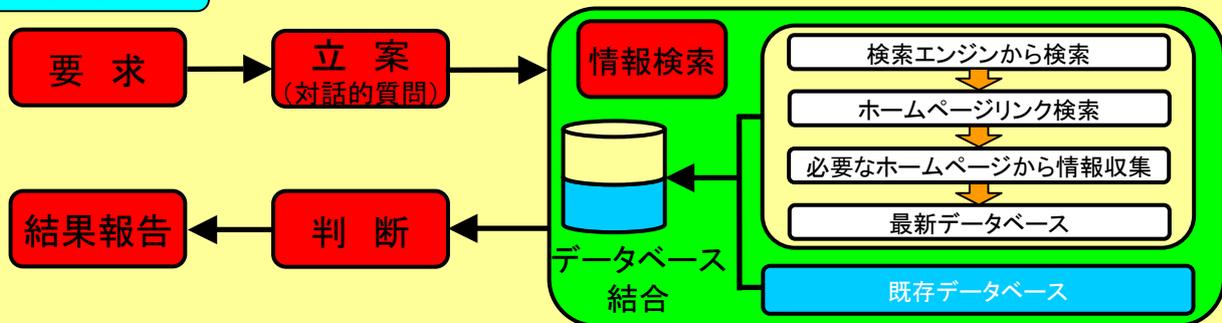
情報技術部 村河亮利, 藤原義也, 岩谷 稔, 田尾博幸, 吉野信行

はじめに

インターネット上には多くの情報が散在しており、この中から必要とする情報のみ検索するのは、検索エンジン等を使用したとしても多大な時間と労力を要する。

そこで、自動的に必要とする情報をインターネット上から検索して整理・提示できるシステムを開発した。平成14年度は、単位まで考慮した情報抽出と電子回路プログラムの抽出機能を付加した。

概念図



- 1 (要求) 対話形式で検索の要求
- 2 (立案) 要求分析し検索に必要な手法・手順の立案
- 3 (情報検索) インターネットからの情報収集と独自作成したデータベース情報結合の実行
- 4 (判断) 技術者が必要とする情報の判断
- 5 (結果報告) 判断に基づいて抽出した結果の報告

適用例

要求

FPGAのデバイス情報、回路情報が欲しい

項目設定

キーワード：FPGA
項目：FLEX 100MHz以上
MAX 90MHzより大きい

キーワード：FPGA
開始文字：module
終了文字：endmodule

結果

<http://www.AAA.co.jp/ucnt1.html>
FLEX MAX
178MHz 140.84MHz
-----END OF <http://www.AAA.co.jp/ucnt1.html>

適合する情報を抽出

```
module MEMORY_CONTROL( CLK, RST, ..... );
input CLK, RST, RDSTB;
...
endmodule
-----END OF http://www.BBB.co.jp/DDD/Verilog/CCC.v
```